

国際日本語教育研究協会 第12回定例会 報告書

◆実施概要◆

テーマ：日本語教育能力検定試験 試験Ⅱ 問題1.2.3（音声分野） 解説

講師：谷村 真司 先生 （財）国際生涯学習研究財団 日本語教師養成講座 講師



今年度の日本語教育能力検定試験が約2か月後と迫ってきており、前回に引き続き検定対策として、試験Ⅱの問題を扱いました。問題の解説に加えて、解き方のポイントを実践を交えて具体的に説明していただきました。

★解き方のポイント（一部抜粋）

【問題1】

- ① 拍の上に文字を書く
- ② 音を何度も再生する
- ③ 2拍ずつに区切って確認する
- ④ アクセントの核を見つける

【問題3】

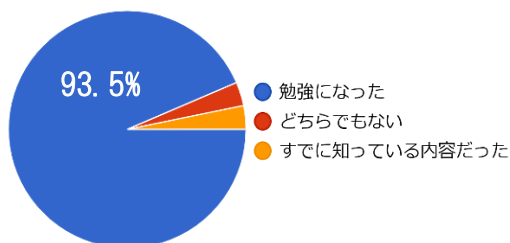
声道断面図の見分け

- ① 歯茎鼻音(左上)
- ② 歯茎摩擦音(右上)
- ③ 歯茎破裂音 or 破擦音(下)



◆アンケート結果◆

① 今回の内容はいかがでしたか



- ・もともと苦手な分野なのでとても勉強になりました。
- ・既習事項でしたが、忘れていた内容が多く大変参考になった。
- ・試験の直前ですごく勉強になりました。
- ・解説とポイントが非常に理解しやすく、どこを勉強したら良いかわかりやすかった。

② 定例会全体について、ご意見やご感想など

- ・このような会があれば、アイビックの養成講座を選択して良かったと思います。
- ・改めてこの会の質の高さ、意識の高さを実感しました。
- ・対面でなくても良いが、質問できるような仕組みを組み込んでほしい。

③ 今後の定例会で扱ってほしい課題や内容

- ・様々な学生がいて、学力の格差に悩んでいます。
- ・特に学習者がつまずくポイント、宿題をさせるモチベーションアップの方法など
- ・オンライン授業のすすめ方、ポイント、準備、テキストについてなど

過去の実施テーマより（上位4つ）

- ・日本語教員に必要な法律知識
- ・類義語の対比研究～似た意味の言葉を初級Ⅰ、初級Ⅱレベルの学生に説明するなら～
- ・漢字の指導法～漢字圏・非漢字圏混合クラスの場合～
- ・読解指導の方法を考える～学習者のモチベーションの視点から～